

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ

1. 事業名称 定住する外国につながる若者への日本語教育支援事業

2. 事業の目的

神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等)を中心とした地域に定住する、外国につながる若者が、基礎からしっかりと日本語を学び、ひいては社会的な自立を目指し、自分の将来の生活設計や社会参画に生かせるような質の高い日本語を学べる場としての日本語教室を運営する。そのために、地域の学校、大学、外国人支援組織(日本語ボランティア教室や国際交流団体)と当団体との既存するネットワークを生かし、日本語指導者研修などの機会を利用して、互いに当該の若者の状況把握し、支援の連携協力体制を整備する。

3. 事業内容の概要

神奈川県北部地域の交通の要であり、広範囲の地域から集える利便性の高い相模大野にある、相模女子大学の構内の多文化学習活動センター(CEMLA)において、日本語教室を週1回(土曜日)に開催したり、研修会・相談・情報提供など日本語教育のセンター的な役割を行う。

相模女子大学とは場所の無償提供や日本語教育を受講する学生のボランティア参加、講師の太田先生が地域日本語教育コーディネーターとして中心的な役割をになっていただくような全面的な連携協力が得られている。その上で、豊富な人材やネットワークを生かし、本教室のボランティアをはじめ、本教室以外で活動している日本語指導者や学校で日本語指導に携わっている人などに対し、研修会を実施する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 9月20日 15:00~ 17:00	2:00	相模女子大学	佐藤教道 松尾英和 角田 淳 鈴木陽子 金愛蓮 高橋徹 西川富貴子 高橋清樹	I. 日本語教室の利用状況報告及び情報交換 II. 研修講座の実施報告 III. 教材作成にかかる意見交換 IV. その他	I. 日本語教室への参加希望(入室相談)が増えてきている。 今後も広報等の充実を図る。 II. 研修講座は実践的なもの7回と教材作成を3回実施する。 III. 教材作成については、昨年度の教材を継続し、若者が活きた日本語に接し、学ぶ意欲の高まるものにする。
2	平成26年 1月16日 15:00~ 17:00	2:00	相模女子大学	佐々木 倫子 佐藤教道 松尾英和 角田 淳 鈴木陽子 金愛蓮 佐屋麻利子 高橋徹 西川富貴子 高橋清樹	I. 日本語教室の利用状況報告及び情報交換 II. 研修講座の実施報告 III. 作成教材の報告及び意見交換 IV. 来年度の事業継続について V. その他	I. 今年度の活動をスライドで報告し、協議した。秋以降新規の学習者が増えた。日本語指導補助の学生ボランティアの参加が安定せず、苦勞した。 II. また、日本語研修の状況や日本語教材を見ながら改善点なども話し合った。 III. 来年度の事業に関して、継続する方向でよいか、協議した。

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 定住する外国につながる若者のための日本語教室(CEMLA教室)

(2) 目的・目標

県内北部地域には広く定住する外国につながる若者(中学生・高校生)が住み、地域の学校に通っているが、学校では孤立していたり少数散在していたりして、十分な日本語学習ができていない状況にある。その結果、不登校やドロップアウトする生徒も少なくない。当教室では、学校とは別に、若者の将来の自立した社会参加を見据えた初中級から上級に至る日本語教育の場や支援の拠点づくりを目的とする。

(3) 対象者

神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市など)に定住する外国につながる若者で、来日間もない者や日本語指導が必要な者。

(4) 開催時間数(回数) 72時間 (全 36回)

(5) 使用した教材・リソース

「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」
昨年度の委託事業で作成した教材、「クラスメイトは外国人(入門編)」など

(6) 受講者の総数 83 人

中国 15人、フィリピン18人、アメリカ4人、ベトナム9人、ブラジル4人、ペルー8人、パキスタン5人、ネパール4人、台湾2人、ロシア1人、アルゼンチン1人、カンボジア3人、ラオス1人、タイ3人、韓国2人、モンゴル1人、ポリビア2人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者
1	5月18日 10時～12時	2時間	相模女子大学	25	中国(9)、フィリピン(7)、ベトナム(5)、ブラジル(1)、ペルー(2)、その他(1)	基礎日本語力1 コミュニケーションカ1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫
2	5月25日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(4)、フィリピン(2)、ベトナム(3)、アメリカ(1)、ブラジル(1)、ペルー(6)、その他(3)	基礎日本語力2 コミュニケーションカ2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香	中原岩夫
3	6月1日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(7)、フィリピン(7)、ベトナム(1)、アメリカ(1)、ペルー(2)、その他(3)	基礎日本語力3 コミュニケーションカ3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫
4	6月8日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(5)、フィリピン(5)、ベトナム(5)、アメリカ(1)、ペルー(4)、その他(3)	基礎日本語力4 コミュニケーションカ4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	中原岩夫
5	6月15日 10時～12時	2時間	相模女子大学	25	中国(7)、フィリピン(7)、ベトナム(3)、アメリカ(1)、ブラジル(1)、ペルー(4)、その他(3)	基礎日本語力5 コミュニケーションカ5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫
6	6月22日 10時～12時	2時間	相模女子大学	19	中国(5)、フィリピン(5)、ベトナム(3)、アメリカ(1)、ブラジル(1)、ペルー(2)、その他(2)	基礎日本語力6 コミュニケーションカ6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
7	6月29日 10時～12時	2時間	相模女子大学	19	中国(5)、フィリピン(3)、ベトナム(4)、アメリカ(2)、ブラジル(1)、ペルー(4)	基礎日本語力7 コミュニケーションカ7	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫
8	7月6日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(2)、フィリピン(4)、ベトナム(3)、アメリカ(2)、ペルー(4)、その他(4)	季節を知らう(七夕)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・・・七夕の話(紙芝居)と笹飾	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫

9	7月13日 10時～12時	2時間	相模女子大学	23	中国(6)、フィリピン(7)、ベトナム(2)、アメリカ(1)、ペルー(3)、その他(3)	基礎日本語力8 コミュニケーション力8	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	山口(佐藤)静香 中原岩夫
10	7月20日 10時～12時	2時間	相模女子大学	29	中国(4)、フィリピン(6)、ベトナム(2)、アメリカ(1)、ブラジル(2)、ペルー(6)、その他(8)	基礎日本語力9 コミュニケーション力9	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香	中原岩夫
11	8月28日 10時～12時	2時間	相模女子大学	13	中国(1)、フィリピン(6)、ベトナム(1)、ペルー(1)、その他(4)	基礎日本語力10 コミュニケーション力10	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
12	8月29日 10時～12時	2時間	相模女子大学	13	中国(2)、フィリピン(5)、ベトナム(2)、その他(4)	基礎日本語力11 コミュニケーション力11	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
13	8月30日 10時～12時	2時間	相模女子大学	13	中国(4)、フィリピン(4)、ベトナム(1)、その他(4)	基礎日本語力12 コミュニケーション力12	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
14	8月31日 10時～12時	2時間	相模女子大学	14	中国(3)、フィリピン(4)、ペルー(2)、その他(5)	基礎日本語力13 コミュニケーション力13	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
15	9月14日 10時～12時	2時間	相模女子大学	19	中国(3)、フィリピン(4)、ベトナム(2)、アメリカ(1)、ブラジル(2)、ペルー(2)、その他(5)	基礎日本語力14 コミュニケーション力14	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	
16	9月21日 10時～12時	2時間	相模女子大学	13	中国(4)、フィリピン(4)、ペルー(2)、その他(3)	基礎日本語力15 コミュニケーション力15	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
17	9月28日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(1)、フィリピン(6)、アメリカ(1)、ブラジル(2)、ペルー(3)、その他(7)	基礎日本語力16 コミュニケーション力16	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫

18	10月5日 10時～12時	2時間	相模女子大学	13	中国(1)、フィリピン(2)、アメリカ(1)、ブラジル(1)、ペルー(2)、その他(6)	基礎日本語力17 コミュニケーション力17	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	
19	10月12日 10時～12時	2時間	相模女子大学	17	中国(2)、フィリピン(6)、ベトナム(3)、アメリカ(1)、ブラジル(2)、ペルー(2)、その他(1)	基礎日本語力18 コミュニケーション力18	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	
20	10月19日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(4)、フィリピン(9)、ベトナム(2)、ペルー(2)、その他(4)	考えてみよう (携帯電話)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・・・携帯電話についてどのよ うに使いかたや困ったこと困ったことなど考 える	藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫
21	10月26日 10時～12時	2時間	相模女子大学	6	中国(2)、フィリピン(3)、その他(1)	基礎日本語力18 コミュニケーション力18	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
22	11月9日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(2)、フィリピン(4)、ベトナム(1)、アメリカ(4)、ブラジル(1)、ペルー(2)、その他(7)	マンガを読む 1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・・・クラスメイトは外国人をみ んなで読み感想を言う	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
23	11月16日 10時～12時	2時間	相模女子大学	31	中国(3)、フィリピン(11)、ベトナム(4)、アメリカ(4)、ブラジル(3)、ペルー(2)、その他(4)	基礎日本語力19 コミュニケーション力19	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
24	11月30日 10時～12時	2時間	相模女子大学	31	中国(4)、フィリピン(11)、ベトナム(2)、アメリカ(2)、ブラジル(2)、ペルー(3)、その他(7)	基礎日本語力20 コミュニケーション力20	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
25	12月7日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(3)、フィリピン(3)、ベトナム(2)、アメリカ(4)、ブラジル(1)、その他(7)	基礎日本語力21 コミュニケーション力21	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香

26	12月14日 10時～12時	2時間	相模女子大学	29	中国(3)、フィリピン(9)、ベトナム(1)、アメリカ(4)、ブラジル(3)、ペルー(2)、その他(7)	基礎日本語力22 コミュニケーションカ22	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
27	12月21日 10時～12時	2時間	相模女子大学	35	中国(3)、フィリピン(11)、ベトナム(3)、アメリカ(4)、ブラジル(2)、ペルー(2)、その他(10)	基礎日本語力23 コミュニケーションカ23	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
28	1月11日 10時～12時	2時間	相模女子大学	34	中国(3)、フィリピン(11)、ベトナム(3)、アメリカ(4)、ブラジル(2)、ペルー(3)、その他(8)	基礎日本語力24 コミュニケーションカ24	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	中村美香
29	1月18日 10時～12時	2時間	相模女子大学	26	中国(2)、フィリピン(10)、ベトナム(3)、アメリカ(4)、ブラジル(1)、ペルー(1)、その他(5)	マンガを読む2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・・・クラスメイトは外国人をみんな で読み感想を書く	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香
30	1月25日 10時～12時	2時間	相模女子大学	26	中国(2)、フィリピン(11)、ベトナム(1)、アメリカ(4)、ブラジル(1)、ペルー(2)、その他(5)	基礎日本語力25 コミュニケーションカ25	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	中村美香
31	2月1日 10時～12時	2時間	相模女子大学	24	中国(3)、フィリピン(10)、ベトナム(2)、アメリカ(3)、ペルー(1)、その他(6)	季節を知ろう (節分)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・・・節分の話(紙芝居)と豆まき	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	中原岩夫 中村美香
32	2月8日 10時～12時	2時間	相模女子大学	6	中国(3)、フィリピン(1)、ベトナム(1)、その他(1)	基礎日本語力26 コミュニケーションカ26	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香	中村美香
33	2月15日 10時～12時	2時間	相模女子大学	3	中国(1)、フィリピン(1)、その他(1)	基礎日本語力27 コミュニケーションカ27	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	藤井美香 安達理子	中村美香
34	2月22日 10時～12時	2時間	相模女子大学	20	中国(3)、フィリピン(4)、ベトナム(2)、アメリカ(4)、ペルー(1)、その他(6)	基礎日本語力28 コミュニケーションカ28	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中原岩夫 中村美香

35	3月8日 10時～12時	2時間	相模女子大学	21	中国(3)、フィリピン(6)、ベトナム(2)、アメリカ(4)、ペルー(1)、その他(5)	季節を知ろう (雑祭り)	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習 うきうきタイム・ひな祭りの意味を知る(雑 祭り)	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中村美香
36	3月15日 10時～12時	2時間	相模女子大学	19	中国(3)、フィリピン(6)、ベトナム(1)、アメリカ(4)、ペルー(1)、その他(4)	基礎日本語力 29 コミュニケーション力29	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やす 中級「JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE」 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじ だいすき」などを用いた学習 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんな の日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた 学習	佐屋麻利子 藤井美香 安達理子	山口(佐藤)静香 中村美香

(8) 受講者の募集方法

広報チラシを下記の様な団体に送った。

国際交流協会、中学校、高校、教育委員会、大学、日本語教室、学習支援教室など

チラシは別添

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

別添

(10) 目標の達成状況・成果

震災後、新たに来日する家族とその子どもが増えてきており、今年度は相談件数も80件を超えた。神奈川県の中央部にはそうした子どもたちが学ぶ場所は少なく、本教室にわらをもすがる気持ちでやってくる家族も多い。

そうした中で、地域の中で日本語を学びたいという切実な声に少なからず応えられたと考える。

(11) 改善点について

多様なニーズに応えるためにはさらに日本語指導者や補助者と情報交換や連携、さらには研修などのスキルアップを図る必要があると考える。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

定住する外国につながる若者の日本語教育支援の方法と課題

(2) 目的・目標

大学との連携において、日本語教育の人材育成・研修を学生ボランティアや地域のボランティア希望者向けに行う。本事業の日本語教室運営事業を生かし、対象となる若者の状況や日本語教育の実践と課題を中心とした実践的な研修とする。

(3) 対象者

(4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全 10回)

(5) 使用した教材・リソース

昨年度本事業で作成した教材など自主教材

(6) 受講者の総数 30人

(出身・国籍別内訳

日本30人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	講座のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	9月14日 10時～13時	3時間	相模女子大学	8人	日本人(8)	語彙の使い分けとその教授法1	語彙の違いを学習者にわかりやすく説明する方法 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ
2	9月28日 10時～13時	3時間	相模女子大学	8人	日本人(8)	漢字指導のポイント1	漢字指導にあたって注意する点や工夫した方がよい点などを学ぶ 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ
3	10月5日 10時～13時	3時間	相模女子大学	6人	日本人(6)	漢字指導のポイント2	前回の講座を受けて、漢字指導にあたって必要な知識を確認する 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ
4	10月19日 10時～13時	3時間	相模女子大学	8人	日本人(8)	若者が考えるための教材と活用の工夫	昨年度の本事業での作成教材を知り、その使い方を学ぶ 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ
5	11月9日 10時～13時	3時間	相模女子大学	7人	日本人(7)	若者が考えるための教材と活用の工夫2	「マンガクラスメイトは外国人」を用いたコミュニケーションの指導法を学ぶ 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ
6	11月16日 13時～16時	3時間	相模女子大学	16人	日本人(16)	「教材に求められること」～教材の種類と作成のポイント～	「教材に求められること」～教材の種類と作成のポイント～ 教材の種類を知る 外国につながる若者へインタビューする 自分で作成してみたい教材を考える	太田陽子 西山日佐子 武一美 藤井美香	宇佐見ジュリアナ春美 グエンタンティタオ 佐屋麻利子 佐藤(山口)静香
7	11月30日 13時～16時	3時間	相模女子大学	14人	日本人(14)	「教材を作ってみよう」～教材の企画作り～	「教材を作ってみよう」～教材の企画作り～ 各自自分で作ってみたい教材のテーマを持ち寄ってグループに分かれる グループごとに教材作りをする グループごとに教材のテーマや概要を発表し、意見交換する	藤井美香 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美 佐屋麻利子 佐藤(山口)静香
8	12月14日 13時～16時	3時間	相模女子大学	18人	日本人(18)	「教材を活かすには」～作成教材の発表と活用のポイント～	「教材を活かすには」～作成教材の発表と活用のポイント～ 講師:AJALT 横浜国立大学講師 関口明子先生 教材作りのためのワークショップ ③・・・発表準備 教材の発表、講師からの講評とまとめ(教材を活かすには)	関口明子 藤井美香	宇佐見ジュリアナ春美 佐屋麻利子 佐藤(山口)静香
9	1月18日 10時～13時	3時間	相模女子大学	10人	日本人(10)	若者が考えるための教材と活用の工夫2	「マンガクラスメイトは外国人」を用いた文章作成の指導法を学ぶ 実践的に学習者に対して指導してみる 指導してみてどこが難しかったか、どうすれば良かったかを考える	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美

10	2月1日 10時～13時	3時間	相模女子大学	9人	日本人(9)	まとめ	グループで講座で学んだことや実践してみたことを話し合い、まとめる グループごとに発表する	武一美 大島智子	宇佐見ジュリアナ春美
----	-----------------	-----	--------	----	--------	-----	---	-------------	------------

(8) 受講者の募集方法

広報チラシを下記の様な団体に送った。
国際交流協会、中学校、高校、教育委員会、大学、日本語教室、学習支援教室など
チラシは別添

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)別添

(10) 目標の達成状況・成果

教材作成については高い関心があり希望者も想定した以上であったが、3回連続を条件としたため参加できない方もいた。研修で作成した教材に関してはとても質の高いものと講師の先生からの評価を受け、受講者の今後の活動に役立つものとする。

また、実践的な日本語研修講座は実際に教室活動を体験することで、活きた日本語教育の研修が得られたものとする。

(11) 改善点について

設定時期や回数について考慮していきたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 定住する外国につながる若者向けの日本語学習教材

「自立と社会参加のための日本語2」

(2) 対象 外国につながる中学・高校生などの若者のうち、日本語の初級学習内容をほぼ終えていると判断された者

(3) 目的・目標

昨年度作成した「自立と社会参加のための日本語」に続き、外国につながる若者に対して、18才以降の生活を念頭に、自立と社会参加に向けた日本語能力の向上をめざす。①必要な情報を自ら見つけ、伝えるリテラシー能力、②将来設計について考える姿勢、③進学・就職を見据えた文章を書く力、の育成を目標とする。「自立と社会参加のための日本語2」では特に、②将来設計についてロールモデルとの対話を通じた進路選択及び職業選択ができる力の育成に重点を置いた。

(4) 構成・総ページ数 80ページ

第1課・お花見でお弁当!?(多様な食から国や地域のつながりについて考える)

第2課・みんなで町おこし!?(自分と社会とのつながりや、将来について考える)

これ以降も、テーマを徐々に増やして展開していきたいと考えている。

各課の構成は、おおむね以下の通りである。課によって多少の差異が生じる。

1. 話してみましょう —— 各課のテーマについてのウォーミングアップ

2. やってみましょう —— テーマを自分の問題としてとらえ、積極的に参加する

3. 私の体験、友だちの体験 —— テーマについての様々な考え方に触れる

4. インタビューしてみましょう —— 他者から話を聞き出すスキルを獲得する

5. 考えてみましょう —— 自身の将来への課題を考える

6. ピックアップ —— 日本社会の仕組みに関するキーワードをとりあげる 7. 調べてみましょう —— 必要な

情報を自ら探し、伝える

8. 虫めがね —— 言語生活における小さなトピックに注目する

9. 書いてみましょう —— まとまった字数の文章表現に挑戦する

10. おまけ —— テーマに関する豆知識にクイズ風に触れる

(5) 教材作成会議の開催について

概要

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 6月24日 15:00～ 17:00	2時間	相模女子大学	太田(合田)陽子 西山日佐子 佐屋麻利子 中村美香 高橋清樹	教材の具体的な内容について検討 役割分担の検討	テーマに沿って各証や単元をどう組み立てるか また役割分担の係決め

2	平成25年 7月22日 15:00～ 17:00	3時間	相模女子大学	太田(合田)陽子 西山日佐子 佐屋麻利子 中村美香 高橋清樹	各分担の進捗状況の確認	各担当から作業の進行状況を報告し、今後いつまでに何をするか決めた
3	平成25年 9月30日 15:00～ 17:00	4時間	相模女子大学	太田(合田)陽子 西山日佐子 佐屋麻利子 中村美香	各分担の進捗状況の確認	各担当から作業の進行状況を報告し、今後いつまでに何をするか決めた
4	平成25年 12月16日 15:00～ 17:00	5時間	相模女子大学	太田(合田)陽子 西山日佐子 佐屋麻利子 中村美香	教材の試用版について	教材の試用版を日本語教室で使用し、その報告を聞いて改善すべき点を話し合った。
5	平成26年 2月24日 15:00～ 17:00	6時間	相模女子大学	太田(合田)陽子 西山日佐子 佐屋麻利子 中村美香	最終的なチェック	読み合わせを行いチェックした。 印刷広報の手段について話し合った

(6) 使い方

5名程度のクラス授業をモデルケースとして作成しているが、支援者と学習者の1対1の学習でも使用できる。独学には向いていない。

使用法は、ページに沿ってタスクに答えていく形となっている。学習者・支援者ともに各ページの指示に従いながら意見を交換し合い、ともに考える中で、様々な語彙や表現に出会い、自らのコミュニケーションスタイルや将来設計について考えを深めていくスタイルである。各タスクには、特に決まった答えが設定されているわけではなく、また、決められた語彙や文法を練習するものでもない。学習者の興味とレベルに応じて学習を進めていけばよいものとなっている。

調べるタスクや、伝えるタスクが多く取り入れられているので、理想的には、学習者がスマートフォンやパソコン、タブレットなどを利用できる環境で使用(作業は日本語に限らず、得意な言語を駆使してかまわない)されることが望ましい。

教師が「教える」タイプの教材ではない。本教室は、大学生ボランティアと高校生が共に学び合う活動体制となっているため、この教材も、お互いに経験談などを持ち寄りながら、ともに「考える」タイプの教材として作られている。

(7) 具体的な活用例

具体的な活用例として、①「やってみましょう」、②「インタビューしてみましょう」、③「虫めがね」の部分を紹介する。

①「やってみましょう」

各課のテーマには身近な題材を用い、各学習者が自身の経験や知識をまとめるきっかけとなるよう構成されている。学習者の日本語レベル差や日本滞在時間の違いなどを考慮し、課題に臨む際参考となるように「私の作品」が掲載されている。学習者は著者が作成した「私の作品」を参考にしてもしなくてもよい。各学習者の認識が共通であるのか、異なっているのかといった多様性を学習者それぞれが確認できる課題となっている。前作「自立と社会参加のための日本語—中学・高校生版」の新聞記事の発表に相当する部分である。

1) 「食(材)」や「地域」といった身近な題材について知り得る情報をまとめる。この作業は、日本語でなくとも、各生徒の得意な言語を使って構わない。本教材では、それぞれの得意な言語は、各自の貴重なリソースであるという立場をとる。また、取り上げる題材は、日本国内のものでも、つながる国のものでもよい。

2) 各題材をタスクシートに従ってまとめる。まとめる内容は以下の項目である。

- ・紹介の準備(写真や絵の添付)
- ・説明の準備(日本語で行う)
- ・なぜその題材を選んだのか
- ・感想

3) クラスで、各自の選んできた題材について発表する。その題材の背景となる事象について話し合ったり、お互いに質問や感想を述べ合ったりといった活動を行う。

「紹介の準備」を行うことで、身近にある事象と自身の関係、自身のつながる国との関係性を見直す狙いがある。中学・高校生はその生育過程の途中での来日となることが多い。「お花見」、「町おこし」といっても現在住んでいるところで実際に参加した経験は多くないと考えられる。「説明の準備」を行うことで、自身の経験と他者からきく体験を照らし合わせることとなり、多くの角度から事象を表現しようと試みることとなる。「食材」一つをとっても自分自身とのつながりを知ることもあり、「地域」の活動を考えることで自分自身のこととしてとらえられるようになると考えられる。多感で多忙な年齢である学習者が、とすれば薄れがちになるであろう、つながる国と日本双方への関心を高める狙いがある。

②「インタビューしてみましょう」

学習者、支援者双方の要望により前作、「自立と社会参加のための日本語—中学・高校生版—」に追加した内容である。タスクシートを仕上げることで中学・高校生が卒業後、自立や社会参加を考えていく上での基礎知識を獲得していけるように構成されている。ロールモデルとなる“先輩”に話を聞くといった活動だけでなく、自らインタビューを行うことで他者と自己の共通点や相違点を客観的にとらえ、自身の将来を考える際の手がかりを探すきっかけになることが目的である。

- 1) “先輩”のプロフィールを知る。
- 2) インタビューの準備を行う。先輩には年齢を座標軸とし、そのときに起こった出来事を年表に埋めてもらう。
- 3) インタビューの内容を考える。自分の知りたいことをまとめ、相手が答えやすいような表現でシートに記入し準備する。
- 4) 先輩のライフストーリーを聞く。
- 5) インタビューを行う。
- 6) インタビューについて振り返る
- 7) 自身の未来予想図を考え、そこに至る道筋を思い描く。

③「虫めがね」の利用法

写真やイラストを多く載せている。成人の日本語学習者と異なり中学・高校生は自身のつながる国、日本、両国ともにおける生活体験が限られていることも多くその国で使われているもの、行われていることなどを知らないことも多い。日本と他の国のものと比較したり、他の参加者と話すことでつながる国と日本双方への関心を強める狙いがある。

- 1) イラストや写真などから想像し、その背景にある文化や習慣などを知る。
- 2) 他者の持つ知識、情報に触れる。
- 3) 自分の考えも紹介する。

(8) 成果物の添付 別添参照

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等)を中心とした地域に定住する、外国につながる若者が、基礎からしっかりと日本語を学び、ひいては社会的な自立を目指し、自分の将来の生活設計や社会参画に生かせるような質の高い日本語を学べる場としての日本語教室を運営する。そのために、地域の学校、大学、外国人支援組織(日本語ボランティア教室や国際交流団体)と当団体との既存するネットワークを生かし、日本語指導者研修などの機会を利用して、互いに当該の若者の状況把握し、支援の連携協力体制を整備する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

地域の日本語教育のセンター的な役割を得る意味でも3つの事業を通して地域の日本語ボランティアや支援者につながり、交流できたことは大きな成果であると考えます。

その中で、本教室への期待の大きさをひしひしと感じたところでもある。外国につながる若者の日本語や社会参加の支援という場が少ないこともあるが、指導経験の豊かなスタッフや当事者のスタッフが学習者の心の支えになっていると考えます。

次年度以降は学習者の声を拾い集めて、本教室の役割を確認したい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラムに基づいて昨年度の委託事業で作成した教材を日本語教室や研修講座の中で活用した。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

地域からの見学や相談が増えてきたのも地域連携が広がっている成果と考える。

国際交流の広報誌や大学の広報誌で取り上げられることも増えてきた。

(5) 改善点、今後の課題について

日本語補助をしてくれる学生ボランティアの継続的な確保が課題の一つである。学生に取ってはまたとない国際交流の場であり、日本社会で外国につながる若者が自立していく上でも学生の存在とその広がりには欠かせない。そうした意味でより学生募集や研修を効果的に行っていく必要があると考える。

日本語ボランティア研修講座

外国につながる若者向けの活きた日本語教材の作成を学ぶ

本講座では、日本語教室で学んでいる外国につながる若者に寄り添い、一人ひとりに応じた支援のスキル獲得と課題解決を目的とし、日本語教育支援のさらなる向上を目指します。



研修日・内容

第1回 11月16日(土) 「教材を作るには・・・」 ～教材の種類と作成のポイント～

講師：相模女子大学 太田陽子先生、CEMLA 日本語担当 西山日佐子先生
外国につながる若者向けの教材紹介と教材作りのポイント

教材作りのためのワークショップ①・・・教材の内容によって4グループに分け

第2回 11月30日(土) 「教材を作ってみよう・・・」 ～教材の企画作り～

講師：CEMLA 日本語担当スタッフ

教材作りのためのワークショップ②・・・4グループで教材の作成

若者に対するヒアリング

第3回 12月14日(土) 「教材を活かすには・・・」 ～作成教材の発表と活用のポイント～

講師：AJALT 横浜国立大学講師 関口明子先生

教材作成のためのワークショップ③・・・発表準備

教材の発表、講師からの講評とまとめ（教材を活かすには）

募集

☆定員 20名 ☆参加費無料 ☆3回を通して参加可能な方

☆資格 地域で日本語指導されている方、或いは始める予定の方

開催

☆場所 相模女子大学 CEMLA ルーム

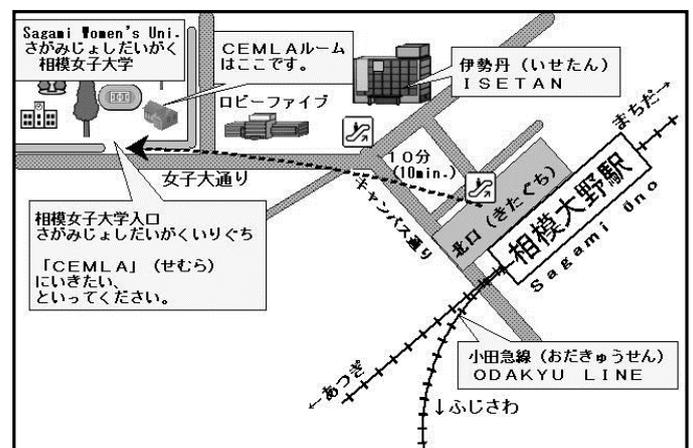
☆時間 13:00～16:00

＜応募方法＞

下記いずれかの方法でお申し込みください

＜お問い合わせ＞

・電話



主催 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ

協力 相模女子大学、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、県立相模原青陵高校

CEMLA 主催(文化庁委託事業)

参加無料

実践！日本語ボランティア 研修講座のお知らせ



本講座は、日本語指導の中で、語彙、漢字、教材活用の3つに絞って、研修を受けてあと、実際にCEMLAで日本語学習する外国につながる若者に、日本語指導をしてみることで、日本語指導の楽しさ、難しさを体験してもらおうという講座です。日本語指導に当たっては、専門の指導者のアドバイスを受けながら行います。ふるってご参加ください。

日時	研修講座のテーマ	研修内容	講師(予定)
9月14日(土) 10時～13時	語彙の使い分けとその教授法1	語彙の違いを学習者にわかりやすく説明する方法	武一美 大島智子
9月28日(土) 10時～13時	漢字指導のポイント1	漢字指導にあたって注意する点や工夫した方がよい点などを学ぶ	武一美 大島智子
10月5日(土) 10時～13時	漢字指導のポイント2	前回の講座を受けて、漢字指導にあたって必要な知識を確認する	武一美 大島智子
10月19日(土) 10時～13時	若者が考えるための教材と活用の工夫	昨年度のCEMLAで作成した教材を用いて、その使い方を学ぶ	武一美 大島智子
11月9日(土) 10時～13時	若者が考えるための教材と活用の工夫2	「マンガクラスメイトは外国人」を用いたコミュニケーションの指導法を学ぶ	武一美 大島智子
1月18日(土) 10時～13時	若者が考えるための教材と活用の工夫3	「マンガクラスメイトは外国人」を用いた文章作成の指導法を学ぶ	武一美 大島智子
11月30日(土) 10時～13時	まとめ	グループで講座で学んだことや実践してみたことを話し合い、まとめ、発表する	武一美 大島智子

講師紹介: 武一美氏早稲田大学留学センター日本語講師 大島智子氏横浜市日本語指導講師

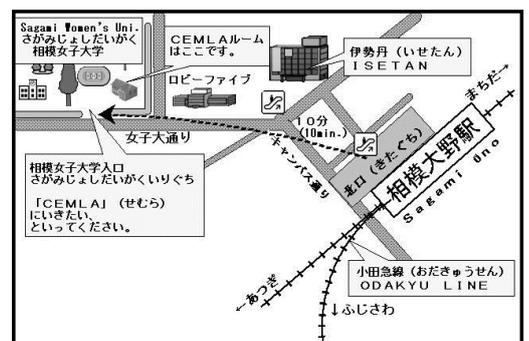
- ☆定員 10名 ☆参加費無料 ☆7回を通して参加可能な方
- ☆資格 地域で日本語指導されている方、或いは始める予定の方
- ☆場所 相模女子大学 CEMLA ルーム

〈応募方法〉

下記いずれかの方法でお申し込みください

〈お問い合わせ〉

- ・電話



主催 NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ

協力 相模女子大学、さがみはら国際交流ラウンジ、かながわ国際交流財団、県立相模原青陵高校

「添付資料」

【日本語教室の授業風景】 CEMLA教室の活動紹介



日本語学習の様子



日本の季節行事の学習と体験



相模女子大学での展示交流活動

交流活動後の集合写真



【研修講座の風景】



実践型研修講座
(ワークショップ)



教材作成の研修講座
(ワークショップ)



教材作成の研修講座 (発表)



教材作成の研修講座 (講義)

バイトがしたい!!

◆ 書いてみよう

【私の一週間】

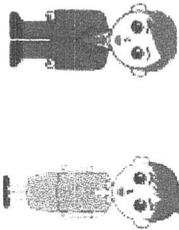
	月	火	水	木	金	土	日
6:00							
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

◆ 考えてみよう

✓ 仕事ができる時間、曜日はいつかな？

✓ 一日何時間 働きたいかな？

◆ 何がちがう？



正社員
アルバイト

契約社員
アルバイト

◆ どんな意味？

資格

要普免
不問
未経験者歓迎

待遇

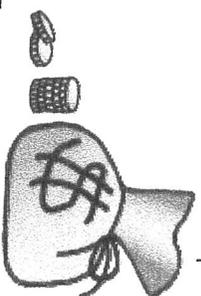
交通費
深夜手当
試用期間

応募

持参
写真貼付
採用係
委細面談

給与

時給
日給
月給

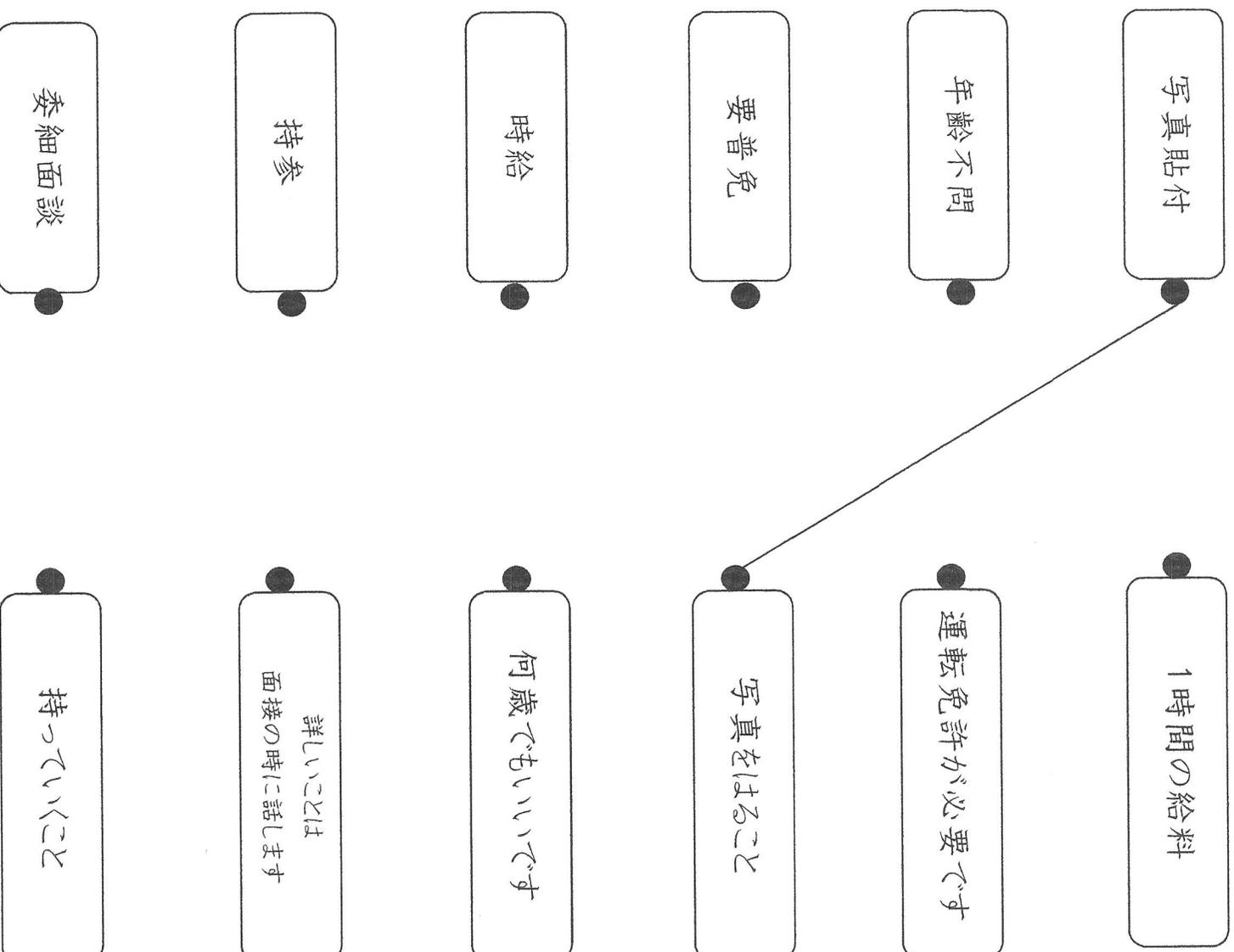


時間

シフト制



◆ やってみよう



《求人情報に出てくることば》

◇働き方◇

正社員…………フルタイムで働くことが多い。雇われる期間は決まっていない。

契約社員…………働く期間と仕事の内容を決めて雇われる社員

派遣社員…………人材派遣会社に登録して、そこから指定された企業に行つて働く社員

仕事の指示は行つた会社で受けるが、給料は派遣会社からもらう。

※人材派遣会社…企業で必要としている人を派遣する会社。

パート…………1日または1週間の働く時間が正社員より短い。

6ヶ月、1年など期間を決めて働くことが多い。

アルバイト…パートと同じように、正社員より働く時間や期間が短い。

※法律で決められたものではないので、働く条件は会社によって違います。仕事の内容、

働く期間、働く時間、給料、休日などは係の人によく聞いてください。

シフト制…………勤務時間が固定されなくて、勤務時間がそのつど変更する働き方。

交代制の勤務

◇資格◇

要普免……………普通自動車の運転免許が必要

不問……………問題にしない

未経験者歓迎…その仕事の経験がなくとも大丈夫

経験者優遇……………その仕事の経験がある人には給料を多く払う

◇待遇◇

交通費……………通勤にかかるバス代や電車賃などのお金

深夜手当……………午後10時から午前5時までの間に働いたときに払われるお金

試用期間……………その仕事に適しているか見るために雇う期間

制服貸与……………仕事のとときに着る制服を会社が貸す

社会保険……………医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労災保険などがあ
る。

それぞれ、病気やけが、高齢化、失業、仕事上のけがなどの事故に備えて
事前に入ることで、万一の時の生活を守る支え合いの仕組み→会社と働く

完備……………全部そろっていること

有給休暇……………給料をもらいながら取れる休み

まかない……………仕事場で食事ができること

◆ 話してみよう

Q; 仕事を選ぶときに何を考える?

お金

日支払い
月末支払い
時給○○円以上
交通費 支給

時間

シフト制
週末のみ
週1からOK
週3以上

場所

駅かから近い
学校から近い
家から近い

その他

資格が取れる
言葉を使わない
まかないが付く

◆ 発表しよう！

あなたは どの仕事に応募しますか？

私は _____ に応募します。

それはどうですか？

私は _____ 曜日の _____ 時から _____ 時まで働けます。

なので、_____ の仕事を選びました。

この仕事は _____ をする仕事です。

◆ 聞いてみよう！

友達を選んで仕事を聞いてみましょう。

_____ さん

_____ さん

新聞を読んでもみよう

名前

以下の新聞記事を読んで、内容について考えよう。

言葉の壁 軽妙に語る スリランカ出身 にしゃんたさん



J・A・T・D・
にしゃんたさん

文化庁の日本語教育大会が、このほど東京都内であり、羽^は語^ご風^{ふう}に語った。国際大准教授のJ・A・T・D・にしゃんたさん(41)が「運いを楽しみ方にかえる」と題した壁を越えて」と題して講演した。スリランカ出身留学生会館の館長密に電話したとき、「館長いますか」子どもに生まれたという伝説がある。日本人の妻との間に生まれた長男は獅朗君。「ハコではなくダグランドと呼びたい。日本人の血が半分だけという発想は捨て、違^{ちが}いをどれだけ豊かに実^みねられるかが大切なんです」(白石明彦)

人が増えました。携帯電話がオコと書いてある電車で、平気で操作してますから」言葉にじわる背景には母国の過酷な歴史がある。「スリランカでは昨年まで25年間も内戦が続き、学校の同級生は半分死にました。きっかけは言葉なんです。多数派の言語を公用語にしたので、少数派が反発しました。言葉は非情でもあります」

越えてきた「言葉の壁」に「どの「心の壁」とともに乗り酒場で意気投合した男性に「心はずに」沈^かみずか。われ、「そんな下心が？」と心配したら、金^{かね}は出してやるからという意味だった。種^た類^{るい}は日本人批判もある。葉を共有しているのに読めな

[2010年9月6日朝日新聞]

①語句の意味を考えてみよう。

文化庁、スリランカ、国籍条項、偏見、関西弁、落語
館長、流腸、意気投合、抱いたる、下心、出してやる
痛烈、過酷、内戦、多数派、少数派、公用語、非情、獅子、伝説
束ねられる

②この記事は何について書かれているか、大まかに答えてください。

③にしゃんたさんの言葉の失敗談にはどのようなものがありましたか、
二つ紹介してください。

1 >

2 >

④日本人批判が書かれています。どのようなことですか。

⑤言葉にこだわる背景には母国の過酷な歴史がある
とありますが、どのようなことですか。

⑥このスピーチの中で、にしゃんたさんが一番言いたいことは何だと思えますか。

⑦あなたには、何か言葉の失敗談がありますか。

⑧言葉以外に来日して困ったことや不思議に思った習慣などありますか。

課題

記事にある<館長、流暢>のような同音異義語を考えて書いてください。

平成 25 年度 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教育
「日本語ボランティア研修」
主催：多文化学習活動センター (CEMILA)

第 3 回 「教材を活かすのは・・・」 ～作成教材の発表と活用のポイント～

公益社団法人国際日本語普及協会
地域日本語教育担当理事 関口明子

1. 発表の準備
2. グループ毎の発表
3. 講評、助言、質疑応答
4. 教材を活かすには

*学習対象者

外国につながる高校 1 年生～3 年生のうち日本の初級学習内容、および、高校の教科の内容をおおむね理解していると判断された生徒

- 1) 日本生まれ、日本の小中学校を卒業。
- 2) 外国に生まれ、数年前に来日した生徒
- 3) その他

*教材

絵カード、文字カード、日本語教科書、読解教材、聴解教材、書き教材等々。
授業の進め方の教材、活用の手順の教材、自立学習に導く活用教材等等。

外国につながる生徒用に作成された教材
生教材 (シェアリア)

1. 今日の講座や3回の講座を通して、得たこと、気づいたことなどありましたらお書きください。

3回の講義は、おもしろい、面白い、面白い。教員について、各自が
今抱えているテーマや、やりとりの中で、メンバーの皆さんから
たくさん事を学ばせていただいた。ワークショップが
良さを実感した。

2013年度CEMLA日本語ボランティア講座アンケート③12/14

1. 今日の講座や3回の講座を通して、得たこと、気づいたことなどありましたらお書きください。

教える側として、どうしてを、系図や部分の導入から入ってまいり、
第一歩として、学習者に投げかけるという行為を、する中で、次のステップを
覚えていくから、1対1の場合、良さ方には、感じました。
学習者が、複数いて、レベルが、違うなかで、共に学ばなければ、いけない
という、エッセンス、進行方法を、学んで、いきたい、と思えました。

2013年度CEMLA日本語ボランティア講座アンケート③12/14

1. 今日の講座や3回の講座を通して、得たこと、気づいたことなどありましたらお書きください。

今まで、気がながかった、学習者の悩みや、どのような過程を
経て、授業を行っていくと、より効果的か、など、他の先生方からの
経験や、ご意見が、バリエーション、貴重な研究でした。
ありがとうございました。